(案)

届出統計調査
総務大臣届出済

秘

平成 30 年度 大阪市ひとり親家庭等実態調査 調査票
(ひとり親家庭用)

(お願い)

この調査は大阪市におけるひとり親家庭等の生活実態とニーズを把握し、ひとり親家庭及び寡婦の福祉施策と自立支援施策のさらなる充実を図るための基礎資料を得るために行う大切な調査ですのでご協力をお願いいたします。

記入いただいた内容は、今後のひとり親家庭及び寡婦の福祉施策と自立支援施策推進のための貴重な基礎資料として活用させていただきますので、なにとぞ調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、この調査票は、あて名のご本人がご回答ください。

～記入上の注意～

- ・お答えは、あてはまる番号に をつけてください。
- ・下線には、あてはまる文字、数字を記入してください。
- ・障がいなどのためにご自分で記入できない方については介護者等が協力して回答してください。

《質問》

あなたのご家庭はひとり親家庭に該当されますか？次の説明を参考にしてあてはまるものに をつけてください。

この調査でひとり親家庭とは、死別、離別、未婚などにより現に配偶者のいない女性または男性が 20 歳未満の子どもを育てている世帯をいいます。

単身赴任、出稼ぎ、子どもの就学などのため、一時的に別居をしている場合は除きます。また、法律上は婚姻していないが、事実上の婚姻関係にある場合も除かれます。

なお、法律上の離婚にまでいたっていないが、事実上婚姻関係が解消している場合などは 1 に をつけてください。

1. 該当する

次のページに進んで最後の質問までご回答ください。

2. 該当しない

これで調査は終わりです。
調査票は同封の返信用封筒でご返送ください
(切手はいりません。)

あるいは受託者

問合せ先：大阪市子ども青少年局子育て支援部
子ども家庭課
大阪市北区中之島 1 - 3 - 2 0
06 - 6208 - 8032、8035

この調査は、統計法第 8 条に基づき総務大臣に届出を行った統計調査です。統計法に基づき調査票は統計目的以外には絶対に使用しません。

あなたの状況についておうかがいします

問1 あなたのお住まいの区はどちらですか _____ 区

問2 あなたの性別に _____ をつけてください。 _____ 男 ・ 女

問3 あなたの年齢(平成 30 年 10 月 1 日現在)を記入してください。
_____ 歳

問4 あなたがひとり親家庭になったのはいつですか？
昭和・平成 _____ 年(西暦 _____ 年) _____ 月

問5 あなたがひとり親家庭になった理由は何ですか？あてはまるもの1つに _____ をつけてください。

1. 配偶者の病死	7. その他の理由による離婚
2. 配偶者の事故死	8. 未婚・非婚
3. その他の理由による配偶者の死亡	9. 遺棄、生死不明
4. 性格の不一致による離婚	10. 別居中
5. 借金など経済的理由による離婚	11. その他
6. 暴力による離婚	(_____)

問6 ひろ親家庭になったとき、困ったことは何ですか？あてはまるものすべてに _____ をつけてください。

1. 経済的に困った	8. 自分が精神的に不安定になった
2. 就職先がなくて困った	9. 子どもが情緒的に不安定になった
3. 仕事と子育ての両立が困難だった	10. 親権や財産等の問題があった
4. 子どもをみてもらうところがなかった	11. 相談相手がいなかった
5. 家事の仕方がわからなかった	12. その他(_____)
6. 住むところに困った	13. 特に困ったことはなかった
7. 子どもの教育(進学)やしつけのことで困った	

問7 あなたが最後に通った学校は何ですか？あてはまるものに _____ をつけてください。

1. 中学校	} 中退 ・ 卒業
2. 高等学校	
3. 短大・専修学校(専門課程)	
4. 大学	
5. その他(_____)	

問8 同居しているすべての子どもの年齢(平成30年10月1日現在)を記入し、性別に をつけてください。就学前で保育所等又は幼稚園、認定こども園、認可外保育施設に通っている場合は、施設の種類の に をつけてください。学生の場合は学校の種類の に をつけ学年を記入してください。学校を卒業している子どもの場合は、最終学歴に をつけ、就職の有無についても をしてください。

	年 齢	性別	施設の種類の	学 生 の 場 合		学校を卒業している場合	
				学 校 の 種 類	学 年	最 終 学 歴	就 職
1	歳	男・女	幼・保・認・ 認可外	小・中・高・大・ 他()	年	中・高・大・ 他()	有・無
2	歳	男・女	幼・保・認・ 認可外	小・中・高・大・ 他()	年	中・高・大・ 他()	有・無
3	歳	男・女	幼・保・認・ 認可外	小・中・高・大・ 他()	年	中・高・大・ 他()	有・無
4	歳	男・女	幼・保・認・ 認可外	小・中・高・大・ 他()	年	中・高・大・ 他()	有・無
5	歳	男・女	幼・保・認・ 認可外	小・中・高・大・ 他()	年	中・高・大・ 他()	有・無
6	歳	男・女	幼・保・認・ 認可外	小・中・高・大・ 他()	年	中・高・大・ 他()	有・無

問9 あなたの世帯人員は何人ですか？(あなた本人と質問8に記入したお子さんは除きます。)お子さんのみの場合は、何も記入せずに問10へ進んでください。

あなたの父母	あなたの兄弟姉妹	あなたの祖父母	その他
人	人	人	人

あなたのお子さんについておうかがいします

問10 あなたは、子育てやお子さんとの関係などについてどのように感じていますか？それぞれの項目で、あてはまるもの1つに をつけてください。

	そう思う	そうは思わない	どちらともいえない
a 子どもとの時間が十分にとれない	1	2	3
b 子どもの気持ちがよくわからない	1	2	3
c 子どもがわずらわしく、イライラすることが多い	1	2	3
d 子どもはどんな時でも自分を頼りに思っている	1	2	3
e 子どもは自分の生きがいである	1	2	3
f 子どもとともに自分も成長していると思う	1	2	3

問11 子どものことで、どのような悩み、困ったことがありますか？あてはまるものすべてに をつけてください。

1. しつけのこと	11. 学力
2. 進学のこと	12. 保育のこと
3. 就職のこと	13. 衣服・身のまわりのこと
4. 非行問題	14. 異性関係
5. 健康問題（病気や障がいのこと）	15. 思春期の対応のこと
6. 食事・栄養のこと	16. 頼りになる親族がいない
7. 学校教育のこと	a. 親族と疎遠 b. 近くにいない
8. いじめ	17. その他 []
9. 友人関係	
10. 不登校	18. 特に悩み、困ったことはない

問12 子育てに関する相談相手(場所)がありますか？あてはまるものすべてに をつけてください。

1. 親族	9. 各区の保健福祉センター
2. 友人	10. 民生委員・児童委員、主任児童委員
3. SNS	11. ひとり親等福祉相談所員
4. 近所(地域)の方	12. 病院・クリニックなどの医療機関
5. 学校(保育所・幼稚園等)の先生	13. 児童養護施設などの児童福祉施設
6. こども相談センター(児童相談所)	14. 地域で活動している団体(NPO等)
7. スクールカウンセラー	15. その他()
8. 男女共同参画センター子育て 活動支援館(クレオ大阪子育て館)	16. 相談相手(場所)はいない。

問13 子どもが病気になったとき、あなたはどのような対応をしていますか？あてはまるものすべてにつけてください。

1. 自営や在宅ワーク又は無職等で家にいるのであなた自身が看護する
2. 仕事を休むなどしてあなた自身が看護する
3. 病児・病後児保育事業を利用する
4. 日常生活支援事業を利用する
5. ファミリー・サポート・センター事業を利用する
6. 親・兄弟姉妹などの親族に看護を頼む
7. 友人・知人などに看護を頼む
8. 仕事中は子どもひとりであることをがまんしてもらう
9. その他 ()

問14 子どもの進学はどこまでを考えていますか？または考えましたか？あてはまるもの1つにつけてください。

1. 中学校	4. 大学	7. その他 ()
2. 高等学校	5. 専門学校	
3. 短大	6. 子どもにまかせる	

問15 子どものためにさせてあげたい活動はどれですか？

A. 学習塾	E. 子ども会	. 野外活動	N. ボランティア活動
B. パソコン教室	F. 少年野球	J. ボーイ・ガールスカウト	O. その他
C. 英会話教室	G. サッカー	K. 音楽・絵画	[]
D. 習字・そろばん塾	H. その他スポーツ・武道
()	L. ダンス	
		M. 旅行	

→ 上記のうち現在、行っていることを上記のアルファベットで記入してください。

活動している こと (アルファベット)	
---------------------------	--

→ 上記のうち家庭の事情等で諦めたことがあれば、上記のアルファベットで記入してください。

諦めたこと (アルファベット)	
--------------------	--

仕事のことについておうかがいします

問16 あなたの職業は、結婚(又は子の出生前)から現在まで、どのような変化がありましたか？以下の時点ごとに、主要な就業形態(数字)・職種(アルファベット)を、下から主なものを1つずつ選んで、数字、アルファベットで記入してください。また、現在において主な仕事以外に別の仕事(副業)をしていれば同様に記入ください。

	結婚前(又は子の出生前)	ひとり親家庭になる前	ひとり親家庭になった直後	現在	
				主な仕事	副業
就業形態(数字)					
職種(アルファベット)					

就業形態

1. 正社員・正規職員
2. パート・アルバイト・臨時職員
3. 派遣社員
4. 自営業主(商店主, 農業など)
5. 自営業の手伝い(家族従事者)
6. 家庭で内職・在宅ワーク
7. 無職(専業主婦を含む)
8. その他()

職種

- A. 専門知識・資格・技術をいかした仕事
(教員、保育士、会計士、看護師、医療技術者など)
- B. 管理的な仕事(企業、団体の管理職など)
- C. 事務的な仕事(一般事務、経理事務・医療事務など)
- D. 営業・販売の仕事(販売員、セールス、外交員など)
- E. サービスの仕事(理・美容師、ホームヘルパー、飲食店員など)
- F. 運輸・通信の仕事(運転手、電話交換手など)
- G. 製造・技能・労務の仕事(工員、製造技能工など)
- H. その他()

問17 ひとり親家庭になる前と後で、仕事のうえで変化はありましたか？あてはまるもの1つをつけてください。

1. 変化なく、そのまま仕事を続けた	6. 複数の仕事に就くことになった
2. 勤務時間等の便宜を図ってもらって仕事を続けた	7. 仕事をやめ無職になった
3. 仕事と家事が両立しやすい仕事に転職した	8. そのまま無職を続けた
4. (3.以外の理由で)転職した	9. その他
5. あらたに仕事に就いた	()

問17-2 (問17で3.4.5.6の方)求職活動をしているときになにか問題がありましたか？あてはまるものすべてにをつけてください。

1. どこに相談すればいいのかわからなかった	7. 資格・技能が合わなかった
2. 気軽に利用できる相談先がなかった	8. 職業経験が少ないことが問題になった
3. 自分にむいている仕事がかかわからなかった	9. 小さい子どもがいることを問題にされた
4. 子どもの保育の手立てがなかった	10. ひとり親家庭であることを問題にされた
5. 求人自体が少なかった	11. 特に問題はなかった
6. 年齢制限のため応募先が限られた	12. 求職活動にあたりサポートが得られなかった
13. その他()	

【現在働いている方】（現在無職の方は何も記入せずに問20へ進んでください）

問18 あなたは何時から何時まで働いていますか？午前・午後どちらかに をつけ、時間を記入してください。一定でない方は2.に をつけてください

1. 午前・午後____時____分～午前・午後____時____分 2. 交代制勤務などで一定でない

問19 あなたは転職したいですか？あてはまるもの1つに をつけてください。

1. すぐに転職したい	3. 転職するつもりはない	→ 問23へ
2. よい仕事があれば転職したい	4. どちらともいえない	
5. その他()		

問21へ

【現在無職の方】

問20 あなたは働きたいですか？あてはまるもの1つに をつけてください。

1. 今すぐに働きたい	3. 働きたいと思わない	→ 問23へ
2. 今は働けないがそのうち働きたい	4. 働くことができない	

問20 - 2 働きたいのに働いていない理由は何ですか？あてはまるものすべてに をつけてください。

1. 仕事の探し方がわからないから	7. 子どもの保育の手だてがないから
2. 収入について条件の合う仕事がないから	8. 子どもの問題があるから(健康状態等)
3. 時間について条件の合う仕事がないから	9. 自分自身の問題があるから(健康状態、離婚調停等)
4. 年齢制限のため仕事がないから	10. 前の配偶者等から身を隠すため
5. 仕事に必要な知識や資格がないから	11. その他()
6. 求職活動中で就職先が決まっていない	

【転職したい方、無職で働きたい方】

問21 仕事に就く場合に重視することは何ですか？あてはまるものすべてに をつけてください。

1. 雇用が安定している	8. 休暇がとりやすい
2. 厚生年金や雇用保険に入れる	9. 簡単な仕事である
3. 十分な収入が得られる	10. 技術や能力が発揮できる
4. 労働時間が短い・残業が少ない	11. 経験のある仕事である
5. 通勤時間が短い	12. 在宅でできる
6. 土日に休める	13. 技術・技能を身につけられる
7. 就業時間に融通がきく	14. その他()

【転職したい方、無職で働きたい方】

問22 あなたはどのような就業形態で働きたいですか？あてはまるもの1つに をつけてください。

1. 正社員・正規職員	4. 在宅で仕事をしたい
2. パート・アルバイト	5. その他()
3. 個人でできる仕事(事業)をやりたい	

問23 あなたはどんな資格を持っていますか？持っている資格名を記入してください。(自動車運転免許等含む) そのうち、ひとり親家庭になってから取得したものについては1に をつけてください。

また、仕事、就職に役立っている資格については2に をつけてください。

資格を持っていない方は、何も記入せずに問24へ進んでください。

持っている資格	(1) ひとり親家庭 になってから取得	(2) 仕事、就職に 役立っている
(1)	1	2
(2)	1	2
(3)	1	2
(4)	1	2
(5)	1	2
(6)	1	2

問24 仕事や就職に役立つ資格として、今後取得したい資格は何ですか？取得したい資格名を記入してください。資格取得を考えていない方は、何も記入せずに問25へ進んでください。

(1)	(3)	(5)
(2)	(4)	(6)

あなたの家計についておうかがいします

問27 ひとり親家庭になった直後、さしあたりどのような方法で生計をたてられましたか？あてはまるものすべてに をつけてください。

1. 自分の就労による収入で支えた	8. 母子父子寡婦福祉資金の貸付を受けた
2. 預貯金を引き出し、生活費に充てた	9. 生活保護を受けた
3. 財産分与・相続分を使った	10. 子どもの父親または母親からの養育費でまかなった
4. 生命保険の保険金を使った	11. 借金をした
5. 親族からの援助を受けた	12. 母子生活支援施設(母子寮)に入所した
6. 遺族年金を受給した	13. その他()
7. 児童扶養手当を受給した	

問28 平成29年(1~12月)のあなたの世帯の年間総収入、あなた自身の年間総収入、あなたの就労収入はどれくらいですか？それぞれ下から選んで、あてはまるアルファベット1つを記入してください。

	同居親族を含む あなたの世帯の総収入	うち、 あなた自身の年間総収入	うち、 あなたの就労収入
回答欄			

A. 50万円未満	G. 300~350万円未満	M. 600~650万円未満	S. 900~950万円未満
B. 50~100万円未満	H. 350~400万円未満	N. 650~700万円未満	T. 950~1000万円未満
C. 100~150万円未満	I. 400~450万円未満	O. 700~750万円未満	U. 1000万円以上
D. 150~200万円未満	J. 450~500万円未満	P. 750~800万円未満	
E. 200~250万円未満	K. 500~550万円未満	Q. 800~850万円未満	
F. 250~300万円未満	L. 550~600万円未満	R. 850~900万円未満	

問29 あなたは就労収入以外に収入(生活費)はありますか？あてはまるものすべてに をつけてください。

1. 児童扶養手当	6. 預貯金の取り崩し	10. 家賃・地代収入
2. 児童手当	7. 養育費	11. 母子父子寡婦福祉資金借入金
3. 特別児童扶養手当	8. 前の配偶者からの仕送り	12. 借金
4. 生活保護費	9. 親・親族からの仕送り	13. その他
5. 年金(遺族、障害等)		()

問30 生活するために、1ヵ月に最低どれくらいの金額が必要であると考えていますか？

1ヵ月最低_____円

問31 現在の生活状況をどのように感じていますか？あてはまるもの1つに をつけてください。

1. 大変余裕がある	2. 余裕がある	3. 普通	4. 苦しい	5. 大変苦しい

養育費・面会交流についておうかがいします(死別でない方)

問32 養育費の取り決めをしていますか？あてはまるもの1つに をつけてください。

1. 文書での取り決め(取り決め書)	2. 公正証書	3. 調停調書	4. 審判書	5. 判決
6. 口約束	7. その他 ()	8. 取り決めをしていない		

問32 2へ

問32-2 (取り決めをしていない方)養育費の取り決めをしていない理由は何ですか？あてはまるものすべてに をしてください。

1. 自分の収入等で経済的に問題ないから	6. 子どもを引きとった者が養育費を負担
すると思っていたから
2. 取り決めの交渉がわずらわしいから	
3. 相手に支払う意思や能力がないと思ったから	7. 縁を切りたいので要求しなかったから
4. 養育費を請求できるとは思わなかったから	8. 現在交渉中又は交渉予定であるから
5. 取り決めの交渉がまとまらなかったから	9. その他()

問33 養育費を受け取っていますか？

1. 定期的に受け取っている	4. 受け取っていない
2. 不定期だが受け取っている	
3. 受け取ったことはあるが現在は受け取っていない	

問33 2 養育費の額はいくらですか？毎月の受け取り額(一定額でない方は、月あたりの平均額)を記入してください(以前受け取っていた方は、受け取っていた額を記入してください。)

月額 約 _____ 円

問34 面会交流の取り決めをしていますか？あてはまるもの1つに をつけてください。

1. 文書での取り決め(取り決め書)	2. 公正証書	3. 調停調書	4. 審判書	5. 判決
6. 口約束	7. その他 ()	8. 取り決めをしていない		

問34 2へ

問34-2 面会交流の取り決めをしていない理由は何ですか？あてはまるものすべてに をしてください。

1. 取り決めの交渉がわずらわしいから	8. 相手が養育費を支払わない又は支払えないから
2. 相手から身体的・精神的暴力や児童虐待があったから	9. 子どものためにならないと思うから
3. 相手と関わり合いたくないから	10. 親族が反対しているから
4. 相手が面会交流を希望しないから	11. 取り決めの交渉がまとまらなかったから
5. 取決めをしなくても交流できるから	12. 現在交渉中又は今後交渉予定であるから
6. 子供の連れ去りや虐待の可能性があるから	13. その他()
7. 子どもが会いたがらないから	

問35 面会交流を実施していますか？

1. 行っている	3. 行っていない	問34 2へ
2. 行っていたが現在は行っていない		

問35 1 (実施している方)面会交流の頻度のうち、あてはまるものに 1 つに○をつけてください。

1. 月2回以上	2. 月1回以上2回未満	3. 2~3か月に1回以上	4. 4~6か月に1回以上
5. 長期休暇中	6. 別途協議	7. その他 ()	

問35 2 (実施していない方)面会交流を行っていない理由は何ですか？

1. 相手が養育費を支払わないから	6. 相手に暴力などの問題行動があるから
2. 相手が面会の約束を守らないから	7. 相手が面会交流を求めてこないから
3. 子どもが会いたがらないから	8. 親族が反対しているから
4. 塾や学校の行事で子どもが忙しいから	9. 第三者による支援が受けられないから
5. 子どもが精神的又は身体的に不安定になるから	10. 相手が結婚したから
	11. その他()

住宅についておうかがいします

問36 それぞれの時点における住宅について、それぞれあてはまるもの1つに をつけてください。

ひとり親家庭になる前	ひとり親家庭になった直後	現 在
1. 持家	1. 持家	1. 持家
2. 親・親族宅に同居	2. 親・親族宅に同居	2. 親・親族宅に同居
3. 市・府営住宅	3. 市・府営住宅	3. 市・府営住宅
4. 公団・公社住宅	4. 公団・公社住宅	4. 公団・公社住宅
5. 民間賃貸住宅	5. 民間賃貸住宅	5. 民間賃貸住宅
6. 社宅・社員寮	6. 社宅・社員寮	6. 社宅・社員寮
7. その他()	7. 母子生活支援施設(母子寮)	7. 母子生活支援施設(母子寮)
	8. その他()	8. その他()

問37 現在の住宅について、あなたが負担している住宅費(家賃、ローン等)を記入してください。(家賃の方は共益費を除いてください)

月額 約 _____ 円

問38 ひとり親家庭になったとき、転居しましたか？あてはまるもの1つに をつけてください。

1. 転居した	2. しなかった
---------	----------

問38 - 2 転居先を決めるときに、重視した事項として、あてはまるものすべてに をつけてください。

1. 実家・親族の近く	4. 配偶者からの暴力(DV)からの避難
2. 保育所・学校	5. 住宅費
3. 就業先(通勤)	6. その他()

問39 ひとり親家庭になってから、住まいのことで何か困ったことがありましたか？あてはまるものすべてに をつけてください。

1. 家賃が高く家計を圧迫する	6. 希望する所(職場に近い、校区が同じ等)に転居先が見つからない
2. なかなか公営住宅に入居できない	7. 持家が残ったがローン返済で困った
3. 敷金等の一時金が確保できない	8. その他()
4. 保証人になってくれる人がいない	9. 特に困ったことはない
5. ひとり親家庭ということで入居を断られた	

各種支援施策についておうかがいします

問40 次の制度や施策のうちあなたがこれまで利用したものはありますか？また、今後も利用したいものはありますか？それぞれの施策や制度等につき、あてはまるものに をつけてください。

		知らな い	これまでに		今後の利用	
			利用し ていな い	利用 した	利用 したい	わか ら ない
a	区保健福祉センター保健福祉業務担当窓口	1	2	3	4	5
b	母子・父子福祉センター(愛光会館)の生活・法律相談	1	2	3	4	5
c	母子・父子福祉センター(愛光会館)の講習事業	1	2	3	4	5
d	母子・父子福祉センター(愛光会館)の就業相談・職業紹介	1	2	3	4	5
e	ひとり親家庭サポーター 1	1	2	3	4	5
f	ひとり親家庭自立支援給付金 2	1	2	3	4	5
g	地域就労支援センター	1	2	3	4	5
h	しごと情報ひろば 3	1	2	3	4	5
i	公共職業安定所(ハローワーク)	1	2	3	4	5
j	マザーズハローワーク	1	2	3	4	5
k	高等職業技術専門学校	1	2	3	4	5
l	児童扶養手当	1	2	3	4	5
m	母子父子寡婦福祉資金貸付制度	1	2	3	4	5
n	ひとり親家庭医療費助成	1	2	3	4	5
o	日常生活支援事業 4	1	2	3	4	5
p	ひとり親家庭等福祉相談所 5	1	2	3	4	5
q	ファミリー・サポート・センター事業 6	1	2	3	4	5
r	子ども・子育てプラザ 7	1	2	3	4	5
s	男女共同参画センター子育て活動支援館(クレオ大阪 子育て館) 8	1	2	3	4	5
t	休日保育事業	1	2	3	4	5
u	病児・病後児保育事業	1	2	3	4	5
v	一時預かり事業(幼稚園型を除く) 9	1	2	3	4	5
w	ショートステイ事業 10	1	2	3	4	5
x	ひとり親世帯優先入居公営住宅	1	2	3	4	5
y	母子生活支援施設(母子寮)	1	2	3	4	5

1 ひとり親家庭サポーター

各区保健福祉センター保健福祉(福祉)課において、就業支援の専門的知識をもつひとり親家庭サポーターが、ひとり親家庭の方及び寡婦の方に対し、就職や自立支援に関する制度などの情報を提供するとともに、きめ細かな就業相談を担当制で行っています。離婚前相談、ひとり親家庭自立支援給付金の事前相談・申請受理も行っています。

区役所の相談日や相談時間に来所できない方に対しては、訪問による相談等も行っています。

2 ひとり親家庭自立支援給付金

ひとり親家庭の方の安定した就労のために、職業能力の開発支援、修業期間中の生活支援を図るため給付金を支給しています。

3 しごと情報ひろば

市内4ヵ所の「しごと情報ひろば」において、若年者・高齢者・障害者・ひとり親家庭の方など、就職に向けた支援が必要な人を対象に職業相談・職業紹介事業を実施しています。

4 日常生活支援事業

ひとり親家庭及び寡婦の方で、技能習得のための通学・就職活動等の自立促進や、疾病・残業等で一時的に保育や家事・介護を必要とする場合に、家庭生活支援員を派遣したり、家庭生活支援員の居宅で保育したりするなど、その生活を支援します。利用料は、利用世帯の所得に応じ、0円～300円となっています。

5 ひとり親家庭等福祉相談所

概ね各小学校下ごとに、地域の母と子の共励会役員宅に設置し、ひとり親家庭の方や寡婦の身近な相談に応じています。

6 ファミリー・サポート・センター事業

急な保育ニーズに対応するために、子供を預けたい方(依頼会員)とこどもを預かりたい方(提供会員)が地域でお互いに助けあうシステムです。依頼会員は保育所等への送迎、保護者の急用、体調不良等に利用できます。

7 子ども・子育てプラザ

乳幼児期の親子や地域の子育て仲間、就学期のこどもの交流の場所として、講座・イベントの開催など、子育て層を応援するとともに、さまざまな子育てに役立つ情報を提供しています。

8 男女共同参画センター子育て活動支援館(クレオ大阪子育て館)

多様化する子育てニーズに対応するため、子育て相談、子育て支援講座の開催、子育て支援情報の提供、子育て支援ボランティアの養成、いろいろレンタなどの事業を実施しています。

9 一時預かり事業(幼稚園型を除く)

保育所等に入所していない小学校就学前の子どもで、保護者が仕事や病気などの理由で一時的に保育を必要とする場合や、育児負担の軽減のために保育を必要とする場合に保育所等でお預かりしています。

10 ショートステイ事業

小学校就学前の子どもで、保護者が病気などの理由で一時的に子育てが困難なとき、1週間を限度として乳児院・児童養護施設でお預かりしています。

問41 福祉サービスを受けるときに不満なこと、困ったことは何ですか？あてはまるものすべてに をつけてください。

1. どこに相談に行けばいいのかわからなかった	7. 担当者の説明がよくわからなかった
2. 何をしてくれるのかわからなかった	8. 担当者によって説明が違って混乱した
3. どこまで支援してくれるのかわからなかった	9. 担当者の言葉、態度に傷ついた
4. いろいろ聞かれるのが嫌だった	10. 困ったことはなかった
5. 自分の状態を正しく説明できなかった	11. 福祉サービスを受けたことはない
6. 相談窓口でプライバシーが守られなかった	12. その他()

問42 現在困っていることは何ですか？あてはまるものすべてに をつけてください。

1. 経済的なこと	7. 自分の健康や精神的なこと
2. 仕事のこと	8. 子どもの健康や精神的なこと
3. 家事や子どもの世話のこと	9. 相談相手、相談先がないこと
4. 住宅のこと	10. その他()
5. 子どもの教育(進学)やしつけのこと	11. 特に困っていることはない
6. 親権や財産等のこと	

問43 困ったときに相談や手助けを頼める人や機関がありますか？あてはまるものすべてに をつけてください

1. 親族	4. SNS
2. 友人、知人	5. その他()
3. 公的機関	5. 頼める人はいない